

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月14日

東・名

上場会社名 フルハシEPO株式会社

上場取引所

コード番号 9221

URL https://www.fuluhashi.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 直彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 総務部長 (氏名) 上野 徹 (TEL) (052) 324-9088

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,208	6.5	491	28.7	686	63.3	482	60.8
2023年3月期第2四半期	3,950	—	381	—	420	—	300	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 495百万円(65.0%) 2023年3月期第2四半期 300百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	41.12	—
2023年3月期第2四半期	30.75	—

(注) 1. 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,277	5,392	47.8
2023年3月期	11,311	5,052	44.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,392百万円 2023年3月期 5,052百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2024年3月期及び2024年3月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,670	7.4	904	7.8	1,090	3.9	756	1.8	64.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	11,760,800株	2023年3月期	11,760,800株
2024年3月期2Q	4,360株	2023年3月期	30,160株
2024年3月期2Q	11,739,613株	2023年3月期2Q	9,765,098株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの5類への移行や人流の回復により経済の正常化が進む一方で、世界的な金融引き締めによる景気への影響や、未だ長期化しているウクライナ情勢等を受けた原材料価格、エネルギー価格の高騰に伴う物価の上昇や為替変動による影響等、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

そのような状況の中、当社グループではエネルギーの利用環境の改善及びサステナビリティ社会の実現に対して貢献すべく、木質廃棄物を再資源化し、持続可能な循環型社会を実現するための取り組みを行っております。

特に木質廃棄物を再資源化し、再生可能エネルギーの原料である燃料チップを製造する「バイオマテリアル事業」、住宅建設に際して発生する建築副産物を再資源化する「資源循環事業」を中心とした2つの事業領域の生産性向上や製造現場の拡大、拡充を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,208,005千円（前年同期比106.5%）、営業利益は491,377千円（前年同期比128.7%）、経常利益は686,688千円（前年同期比163.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は482,776千円（前年同期比160.8%）となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標（経営資源の配分の決定や業績の評価等の検討に使用している経営指標等）を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

#### <バイオマテリアル事業>

経済発展の中で不可避免的に発生する「木質廃棄物」を木材チップとして再資源化し、有効活用する「バイオマテリアル事業」では、再生可能エネルギーの原料となる燃料チップに対するニーズが高まっております。特に円安等による輸入燃料及び輸入木材の価格高騰の影響により、国内の木材チップの需要は引き続き増加の一途を辿っております。木材チップの原料調達におきましては、昨年度開設いたしました岐阜第二工場（大垣）及び西東京工場（入間）が順調に稼働し、当第2四半期連結累計期間におきましても入荷数量は堅調に推移いたしました（前年同期比116.3%）。木材チップ販売につきましては、主要顧客であるCEPO半田バイオマス発電所において、引き続き輸入バイオマスの仕入価格高騰の影響もあり、当社からの出荷増に繋がっております。また、販売単価の改定効果として平均単価が前年同期比104.7%となりました。以上の結果、セグメント売上高は3,051,568千円（前年同期比112.4%）、セグメント利益は432,503千円（前年同期比120.8%）となりました。

#### <資源循環事業>

住宅建設の際に発生する建設副産物を当社が再資源化し循環型社会の実現を図る「資源循環事業」では、住宅市場の動向を注視することが重要です。住宅資材の高騰とそれに連動した住宅価格水準の高騰などの要因により、直近の住宅着工件数は前年度比6.2%減となりましたが、分譲戸建て住宅に関しては、前年度と同水準の市場規模でありました。そこで、既存顧客でもある住宅メーカー等の期待に応える営業方針の徹底により、当事業領域におけるシェアアップを図るとともに、全国展開する顧客取引先に対して対応可能な営業体制を構築することで受注量の増加に繋がりました。また、関東における2つ目の拠点として、柏リサイクルガーデンが計画より2か月前倒しとなる2023年8月に稼働を開始いたしました。以上のように営業活動を推し進めたものの、主要顧客であるハウスメーカーの着工件数減少の影響により、セグメント売上高は726,309千円（前年同期比96.8%）、セグメント利益は34,485千円（前年同期比79.5%）となりました。

#### <環境物流事業>

木製パレット等の物流機器の製造・仕入・販売を展開している「環境物流事業」では、中古リニューアル品の販売に注力いたしました。特に、物流業界では2024年問題への対応により生じる不要物流機器の再利用等、一連の製品ライフサイクルを踏まえた物流機器買取、また、中古リニューアル品の販売では顧客ニーズにあわせたリメイク商品提案やイニシャルコスト削減商品としての提案等により販売に注力いたしました。一方で、顧客側の荷動きの低調さが影響し、当社シェアは維持しているものの販売数量が減少した結果、セグメント売上高は349,302千円（前年同期比89.3%）となりました。セグメント損失は管理部門の費用配賦の金額が減少した影響もあり1,545千円（前年同期は8,394千円のセグメント損失）となりました。

#### <その他>

気候変動問題への取組みとして、世界で2050年のカーボンニュートラル実現に向けた検討が進んでおります。官民における環境問題対策への需要を着実に取り込んだことで、TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」及び製品・サービスのライフサイクル全体又はその特定段階における環境負荷を定量的に評価するライフサイクルアセスメント（LCA：Life Cycle Assessment）支援等のカーボンニュートラル関連における環境コンサルティングサービス事業が伸長しました。一方で、スポット案件の住宅等の解体工事及び清掃業務が減少したことにより、セグメント売上高は223,908千円（前年同期比82.1%）、セグメント利益は25,258千円（前年同期比159.2%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は11,277,311千円となり、前連結会計年度末から34,211千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末から49,251千円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が135,220千円、原材料及び貯蔵品が11,989千円減少したものの、現金及び預金が207,953千円増加したことによるものです。

固定資産は前連結会計年度末から83,463千円減少しました。これは主に、柏りサイクルガーデンが新設となったことにより建物及び構築物が18,847千円、機械装置及び運搬具が12,754千円、既存工場の生産性向上を目的とした設備投資によりリース資産が44,013千円増加したものの、保険積立金の一部を解約したことにより保険積立金が215,468千円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は5,885,285千円となり、前連結会計年度末から373,783千円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

流動負債は前連結会計年度末から232,817千円減少しました。これは主に、短期借入金が200,000千円、リース債務が20,658千円減少したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末から140,966千円減少しました。これは主に、長期借入金が174,558千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,392,026千円となり、前連結会計年度末から339,572千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が306,816千円増加したことによるものです。

### (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度から225,957千円増加し2,684,456千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、981,764千円（前年同期は365,219千円の資金増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上703,238千円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、111,571千円（前年同期は353,992千円の資金減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出141,825千円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、641,573千円（前年同期は84,964千円の資金増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出461,351千円、短期借入金の返済による支出200,000千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日付の「2023年3月期 決算短信」にて公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,599,512	2,807,466
受取手形、売掛金及び契約資産	1,067,870	932,650
商品及び製品	35,500	47,904
仕掛品	80,950	81,942
原材料及び貯蔵品	31,136	19,146
その他	159,914	135,292
貸倒引当金	△10,911	△11,178
流動資産合計	3,963,973	4,013,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,344,920	2,363,768
機械装置及び運搬具（純額）	462,922	475,677
土地	2,697,278	2,700,989
リース資産（純額）	415,481	459,494
建設仮勘定	49,037	50,716
その他（純額）	43,405	40,669
有形固定資産合計	6,013,045	6,091,315
無形固定資産		
50,336		42,451
投資その他の資産		
投資有価証券	364,587	389,294
長期貸付金	15,975	15,335
繰延税金資産	206,744	203,793
保険積立金	578,771	363,302
その他	121,339	161,723
貸倒引当金	△3,249	△3,131
投資その他の資産合計	1,284,167	1,130,319
固定資産合計	7,347,549	7,264,086
資産合計	11,311,523	11,277,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,566	194,416
短期借入金	510,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	868,981	883,610
リース債務	184,335	163,677
未払法人税等	253,171	237,782
賞与引当金	143,713	147,086
その他	973,409	939,786
流動負債合計	3,109,177	2,876,359
固定負債		
長期借入金	2,202,995	2,028,437
リース債務	276,193	316,657
役員退職慰労引当金	297,380	299,932
退職給付に係る負債	281,682	283,915
資産除去債務	68,733	72,933
その他	22,907	7,050
固定負債合計	3,149,891	3,008,925
負債合計	6,259,069	5,885,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,497,569	1,497,569
資本剰余金	1,246,134	1,262,891
利益剰余金	2,296,325	2,603,141
自己株式	△4,026	△582
株主資本合計	5,036,003	5,363,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,157	10,006
為替換算調整勘定	13,293	18,998
その他の包括利益累計額合計	16,450	29,005
純資産合計	5,052,453	5,392,026
負債純資産合計	11,311,523	11,277,311



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,950,578	4,208,005
売上原価	2,210,336	2,245,984
売上総利益	1,740,242	1,962,020
販売費及び一般管理費	1,358,359	1,470,642
営業利益	381,882	491,377
営業外収益		
受取利息	42	71
受取配当金	14,157	7,362
持分法による投資利益	19,081	14,838
保険解約返戻金	7,368	180,407
為替差益	14,557	6,272
その他	19,154	14,197
営業外収益合計	74,362	223,149
営業外費用		
支払利息	22,516	18,858
株式交付費	9,790	—
支払手数料	—	7,229
その他	3,494	1,750
営業外費用合計	35,800	27,838
経常利益	420,444	686,688
特別利益		
固定資産売却益	5,052	17,611
受取保険金	39,312	—
特別利益合計	44,364	17,611
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	1,061
特別損失合計	0	1,061
税金等調整前四半期純利益	464,809	703,238
法人税等	164,569	220,462
四半期純利益	300,240	482,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,240	482,776

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	300,240	482,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,128	6,849
為替換算調整勘定	1,061	5,705
その他の包括利益合計	△66	12,554
四半期包括利益	300,173	495,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,173	495,330
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	464,809	703,238
減価償却費	234,239	262,685
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,079	148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△89	3,372
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△217	2,552
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,980	1,783
火災損失引当金の増減額 (△は減少)	△34,040	—
受取利息及び受取配当金	△14,200	△7,433
支払利息	22,516	18,858
持分法による投資損益 (△は益)	△19,081	△14,838
受取保険金	△39,312	—
固定資産売却損益 (△は益)	△5,052	△17,611
固定資産除却損	0	1,061
売上債権の増減額 (△は増加)	12,986	138,601
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14,622	1,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,389	16,974
その他	△144,425	111,037
小計	464,425	1,221,978
利息及び配当金の受取額	56,578	7,433
利息の支払額	△22,301	△18,647
法人税等の支払額	△172,796	△228,998
保険金の受取額	39,312	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	365,219	981,764
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△363,204	△141,825
有形固定資産の売却による収入	7,704	19,220
無形固定資産の取得による支出	△2,620	△7,608
貸付けによる支出	△1,600	—
貸付金の回収による収入	638	639
その他	5,090	18,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,992	△111,571
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,500	△200,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△534,669	△461,351
リース債務の返済による支出	△98,276	△104,261
株式の発行による収入	515,708	—
配当金の支払額	△89,298	△175,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,964	△641,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,472	△2,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	101,664	225,957
現金及び現金同等物の期首残高	507,484	2,458,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	609,148	2,684,456

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社は、2022年4月21日に東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年4月20日を払込期日とする公募増資(ブックビルディング方式による募集)により、新株式400,000株を発行しております。当該増資により、資本金及び資本準備金はそれぞれ210,900千円増加しております。

また、2022年5月24日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出し)により、新株式79,500株を発行しております。当該増資により、資本金及び資本準備金はそれぞれ41,916千円増加しております。

さらに、2022年7月29日を払込期日とする第三者割当増資(譲渡制限付株式報酬制度による第三者割当増資)により、新株式14,200株を発行しております。当該増資により、資本金及び資本準備金はそれぞれ9,932千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は572,749千円、資本剰余金は321,314千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2023年7月28日付で自己株式の処分(25,800株)を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が16,757千円増加、自己株式が3,444千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,262,891千円、自己株式が582千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	バイオマテ リアル事業	資源循環 事業	環境物流 事業	計				
売上高								
廃棄物処分・ 収集運搬	1,607,153	729,947	2,438	2,339,539	746	2,340,285	—	2,340,285
製品・商品 (注) 4	946,062	1,309	385,245	1,332,617	891	1,333,509	—	1,333,509
その他(注) 5	131,417	15,739	1,485	148,643	128,140	276,783	—	276,783
顧客との契約 から生じる 収益	2,684,634	746,996	389,169	3,820,800	129,777	3,950,578	—	3,950,578
外部顧客への 売上高	2,684,634	746,996	389,169	3,820,800	129,777	3,950,578	—	3,950,578
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,722	2,945	2,184	35,852	142,824	178,677	△178,677	—
計	2,715,357	749,942	391,354	3,856,653	272,602	4,129,255	△178,677	3,950,578
セグメント利益 又は損失(△)	358,158	43,357	△8,394	393,121	15,868	408,990	△27,107	381,882

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木質チップと、「環境物流事業」における木質パレット等を含む物流機器の販売であります。

5. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	バイオマテ リアル事業	資源循環 事業	環境物流 事業	計				
売上高								
廃棄物処分・ 収集運搬	1,829,532	707,959	—	2,537,491	—	2,537,491	—	2,537,491
製品・商品 (注) 4	1,062,682	2,543	346,343	1,411,570	258	1,411,829	—	1,411,829
その他(注) 5	134,871	12,298	1,158	148,327	110,356	258,684	—	258,684
顧客との契約 から生じる 収益	3,027,086	722,801	347,502	4,097,390	110,615	4,208,005	—	4,208,005
外部顧客への 売上高	3,027,086	722,801	347,502	4,097,390	110,615	4,208,005	—	4,208,005
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	24,481	3,508	1,800	29,789	113,293	143,083	△143,083	—
計	3,051,568	726,309	349,302	4,127,179	223,908	4,351,088	△143,083	4,208,005
セグメント利益 又は損失(△)	432,503	34,485	△1,545	465,444	25,258	490,702	675	491,377

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境コンサルティング、セキュリティ等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「製品・商品」の主なものは「バイオマテリアル事業」における木質チップと、「環境物流事業」における木質パレット等を含む物流機器の販売であります。

5. 「その他」の主なものは「バイオマテリアル事業」と「資源循環事業」における有価物売却であります。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標（経営資源の配分の決定や業績の評価等の検討に使用している経営指標等）を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。